

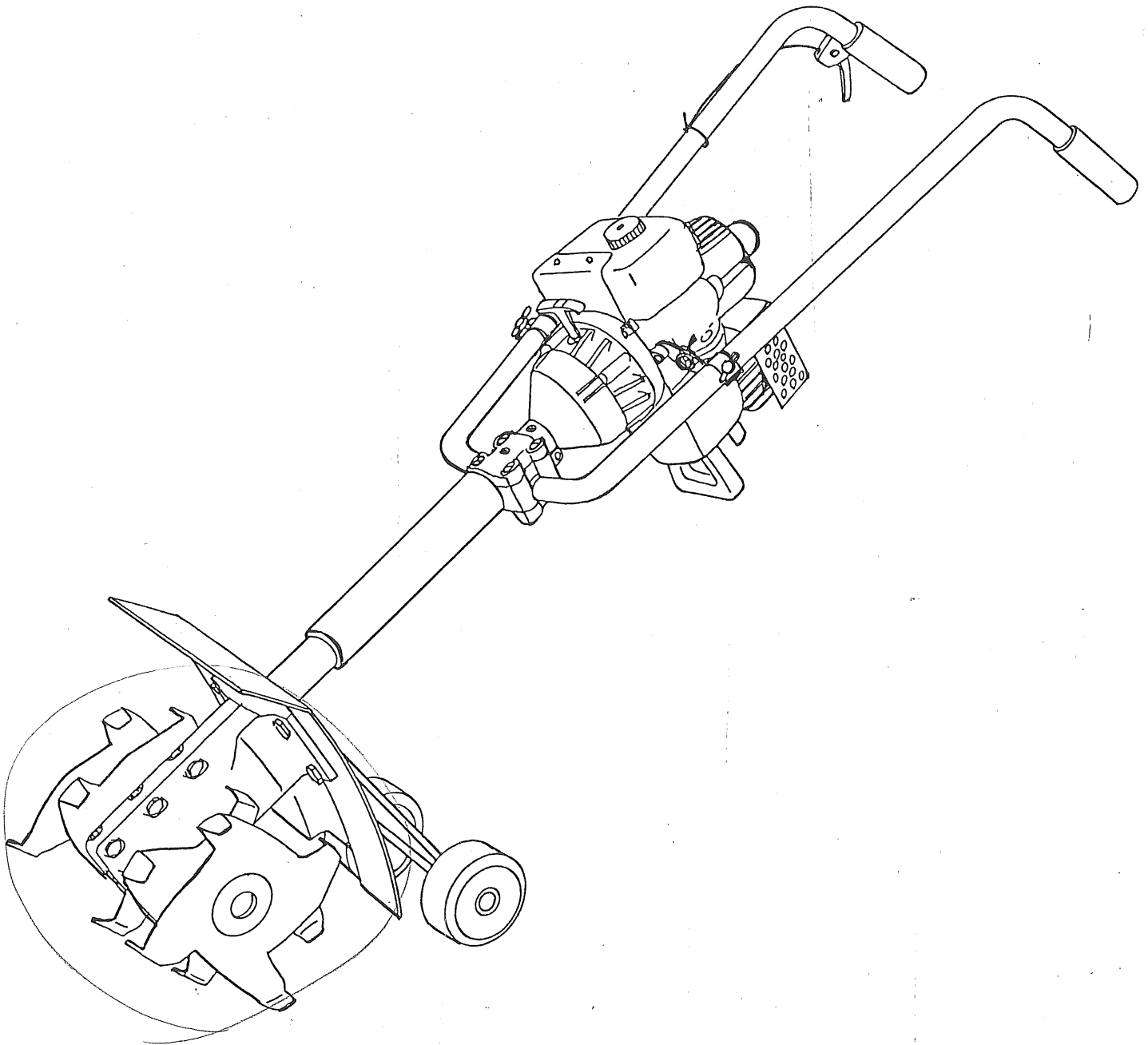
RYOBI

カルチベータ(専用機)

RCV-100

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。



安全に注意して、正しく

○ご使用前は

- 服装はすそじまりをよくし、目、耳、足の防護具を使用して、防振性のある手袋をはめましょう。
- 一日の操作時間を5時間以内になるよう作業時間の組合わせを上手にして、連続運転は30分以内になるように計画します。
- 説明書をよくお読み下さい。子供や説明をうけていない人には運転させないようにします。
- 機械はいつもきれいにしておきましょう。特に燃料タンクのまわりはよく拭いておきます。

○ご使用中は

- カルチを始動したり、運転したりする時は周囲に充分注意して必ず一人で(補助者なしで)操作して下さい。
- 回っている刃物に不用意に手はもちろんのこと、身体や衣服を近づけることは大へん危険です。
- カルチは両手でしっかりとハンドルをにぎり、安定した体勢で使用します。
- 作業を中断したり、移動するときは、必ずエンジンを停止しておきます。
- 刃物を障害物にぶつけたときは、すぐ止めて異常の有無を調べ、状況によっては整備した後に使用するようになります。2台以上で作業するときには充分に間隔をとって作業して下さい。
- 取扱いの基本をよく理解して安全作業を心がけましょう。

仕 様

形 式			RCV-100
寸 法	長さ×巾×高さ	mm	1,200×455×815
重 さ		kg	9.5
エンジン	形 式		空冷2サイクル単シリンダ
	排 気 量	cc.	31
	最 高 回 転 数	r.p.m.	エンジン:8,500 刃物:200
	キャブレタ		ダイヤフラム
	マグネット		電子点火方式、フライホイールマグネット
	スパークプラグ		DJ-8J
	始動・動力伝達		リコイルスタータ、自動遠心クラッチ
燃 料	混 合 比		ガソリン20~25:2サイクル専用オイル1
	タンク容量	ℓ	0.5 (連続約25分)
装 置	操 作		両手ハンドルトリガ式レバー
	刃 物		4枚刃 210×19×1.7mm
能 力	耕 う ん 幅	cm	24
	耕 深	cm	6

ご使用いただくために……

○ご注意

- 石や草がまき込み刃物が回らなくなった時は必ずエンジンを停止してから除去して下さい。(回転中に負荷を取り除くと刃物が急に回転します。)

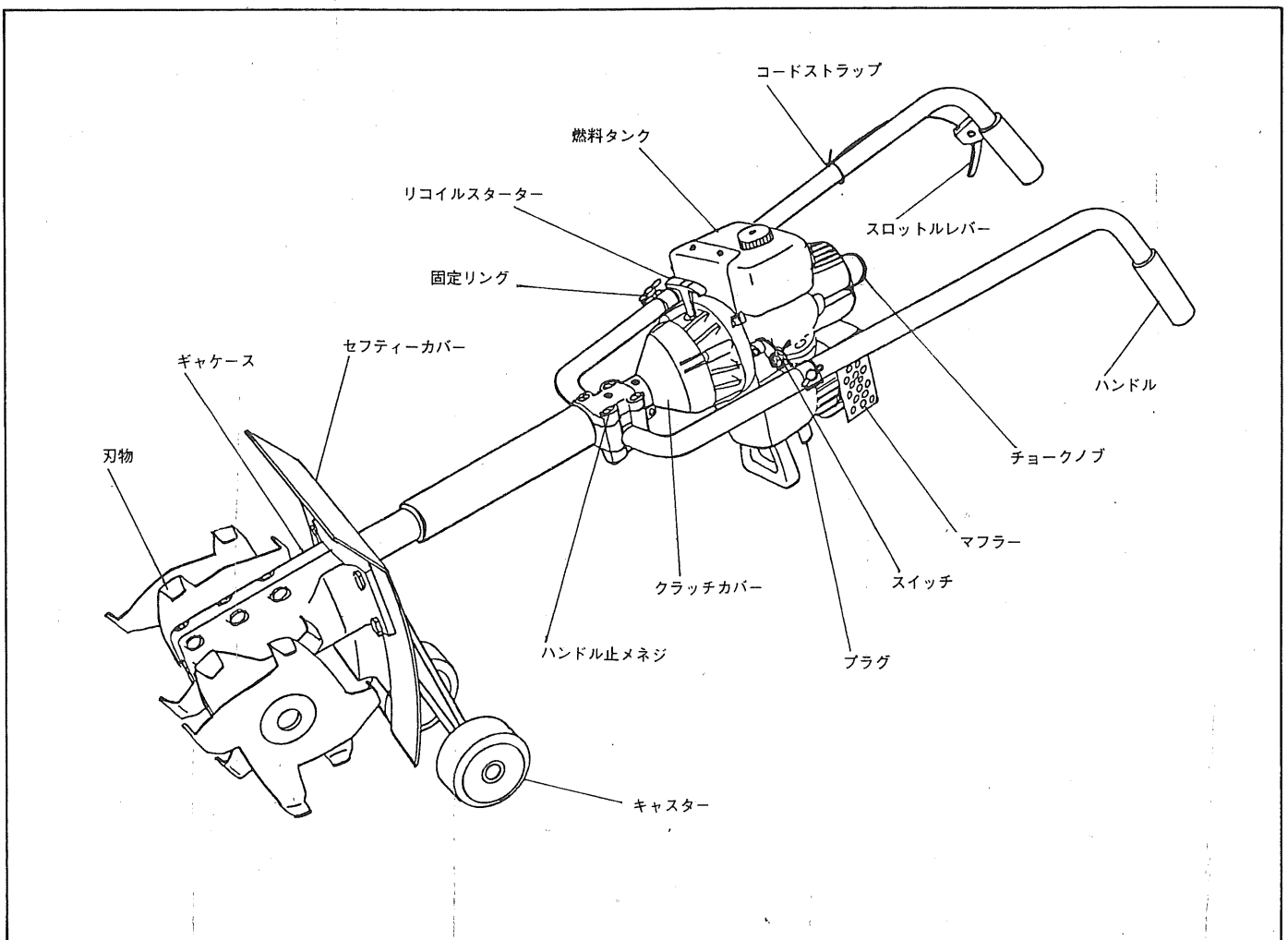
○燃料について

- 燃料は引火しやすいので注意して取扱いましょう。
- 燃料補給や手入れをしているときには、タバコを吸ったり火気を近づけないで下さい。
- 補給は必ずエンジンを停止し、冷えてから実施します。

○ご使用後は

- 燃料は引火しやすいので注意
- ネジ類のゆるみ、部品の破損、摩耗、キャブレタのまちがった調整などは色々な障害の原因になります。点検をして完全に整備してからご使用下さい。
- 補用部品はすべて指定の純正部品をご使用下さい。
- 格納するときは、燃料を抜いた後、再度エンジンを始動させ、停止後安全できれいな場所に保管します。

各部の名称

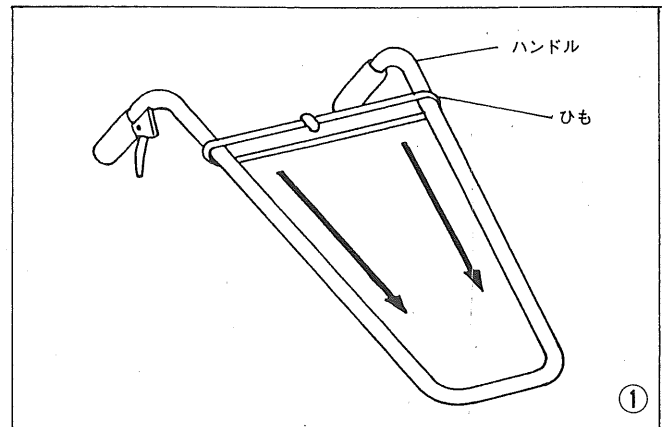


使用準備

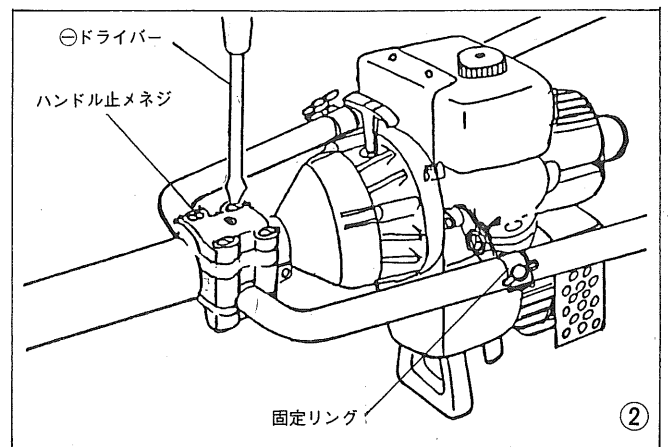
- 開梱してハンドルと本機を出して下さい。
右図の様にハンドルはプラスチック製のひもで止めています。
ひもは矢印方向へずらして外して下さい。

〈注意〉

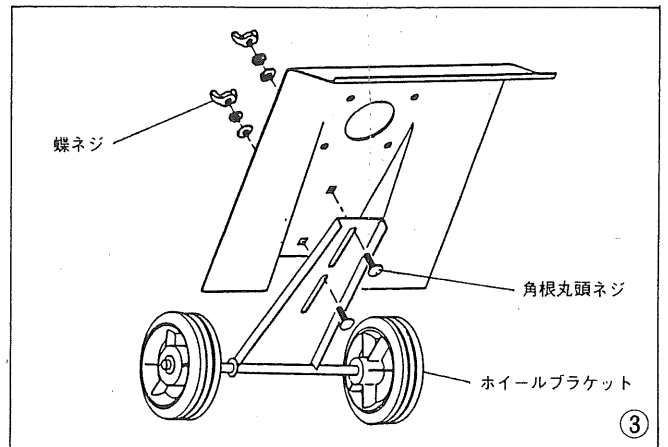
- カッター等でひもを切ると一気にハンドルが開き危険です。①



- ハンドルを右図の様に締付して下さい。
※固定リングは左右ハンドルグリップ方向へよせて下さい。
- 固定リングを締付けてハンドルを固定して下さい。②



- ホイールブラケットを右図のように取付けます。③



運 転

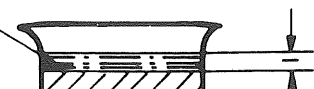
○ 燃 料

- ガソリンと2サイクル専用オイルを混ぜた混合燃料です。
- ガソリン20~25に対し専用オイルを1の割合で混合して下さい。
- 指定されたオイル、混合比以外の燃料はエンジン不調の原因となりますので使用してはいけません。

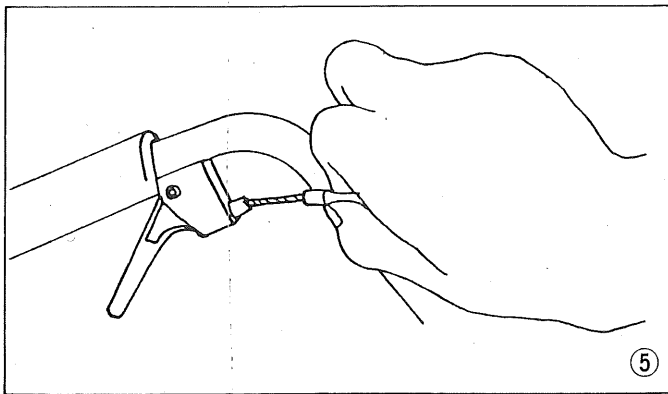
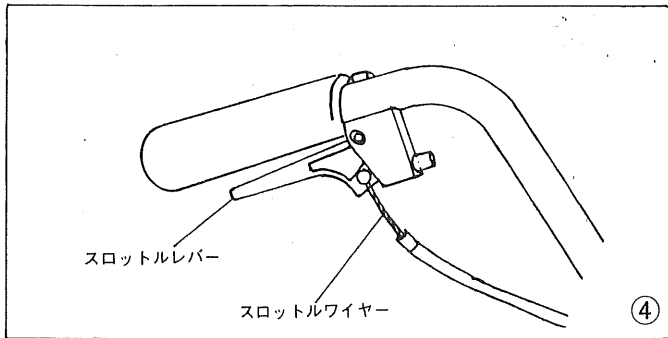
燃料混合割合表

混合比	ガソリン(ℓ)	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
20:1	オイル(cc)	50	100	150	200	250
25:1	オイル(cc)	40	80	120	160	200

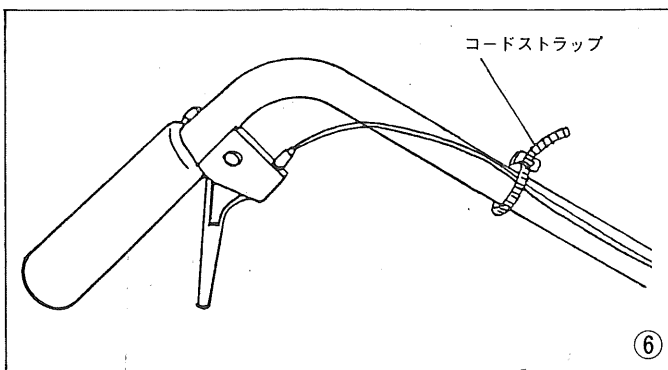
2サイクル専用オイル



- スロットルレバーにスロットルワイヤーを連結します。④⑤



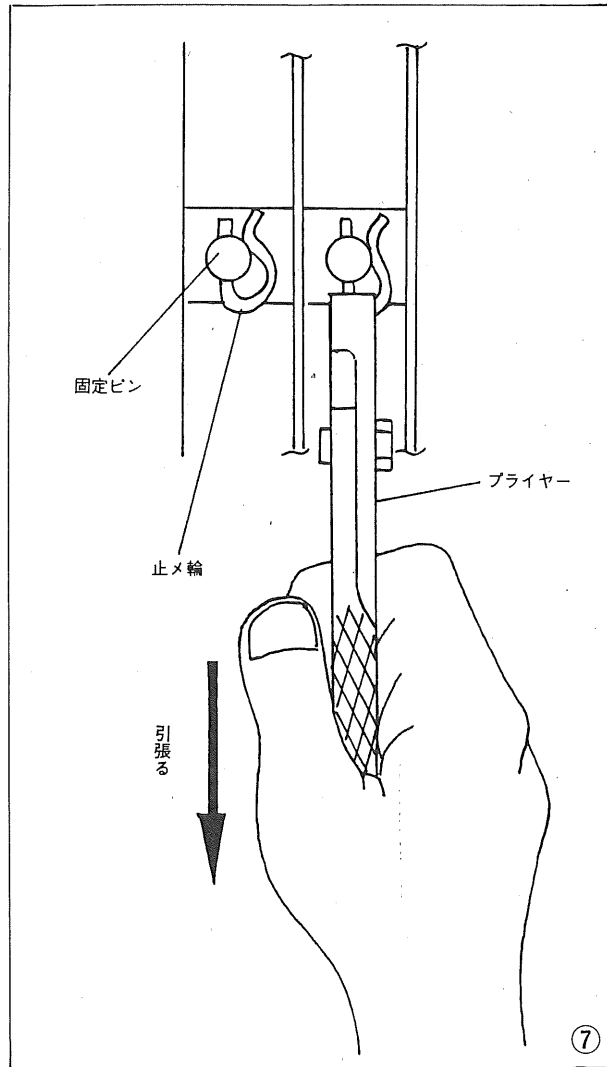
- コードストラップでスロットルワイヤーを右ハンドルに添わせて下さい。⑥



○ 刃物の取り外し方

- 固定ピンの止メ輪をプライヤー等で外して下さい。固定ピンを抜き刃物を取ります。組立の際は、必ず止メ輪をつけて下さい。

⑦



正しい操作法

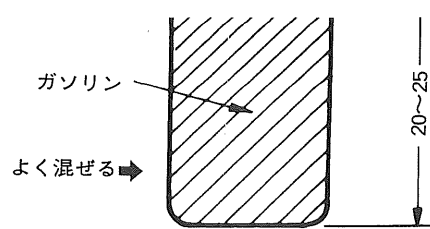
* 安全な服装・装備、よく整備された機械で……………*

○ 基本的な作業

- ハンドルを両手でしっかり握り移動が容易な体勢で作業します。
- スロットルレバーを引き、エンジンの回転を上げて荒地の草刈や草の根掘り作業を開始します。
- 土を深く掘る場合は本体を前後に動かすと容易にできます。



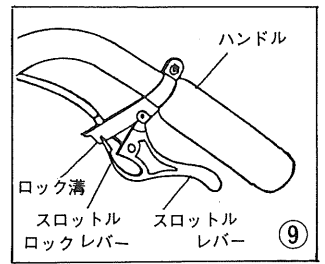
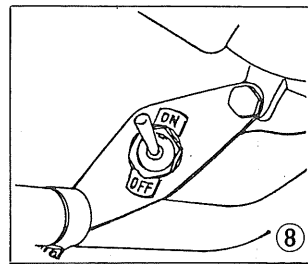
- 容器に入れてよく混ぜ合わせて下さい。燃料タンクの中で直接混ぜてはいけません。こぼれた燃料はよくふきとります。
- 購入後2～3ヶ月経過した古い燃料は、エンジンの不調原因となりますので新しい燃料をご使用下さい。



○始動

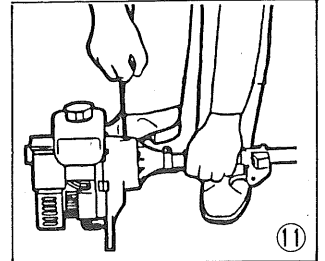
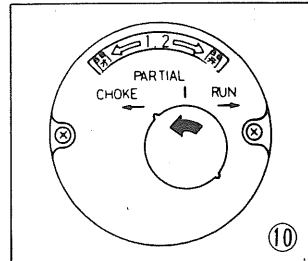
1. エンジンを手でさわられる位冷えている時

- 燃料を燃料タンクに入れて下さい。
- 停止スイッチを上側に倒して下さい。⑧
- スロットルレバーを引きスロットルロックレバーを引き上げた状態でロック溝にはめて下さい。⑨

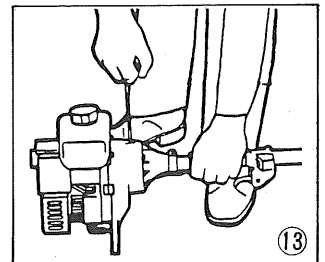
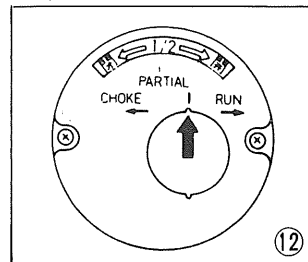


- ※ ● チョークノブを廻し、全閉の位置(閉)にして下さい。⑩

- リコイルスタータを最初の爆発音がするまで引いて下さい。⑪

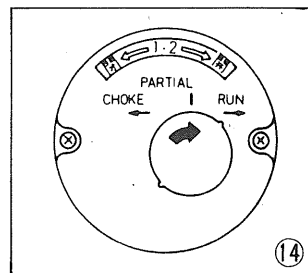


- チョークノブを半開の位置(y 2)にして、リコイルスタータを引いてエンジンを始動して下さい。⑫⑬



- 始動しない場合は※印の項に戻り操作を繰り返して下さい。

- 始動後30秒間くらいそのまま暖機運転して下さい。その後チョークノブを全開の位置(開)に戻してスロットルレバーを引くとスロットルロックが解除しアイドリング運転となります。⑭



〈注意〉

- 爆発音を聞き逃がしチョークノブを全開のままでもリコイルスタータを引いても始動しません。
- 爆発音を聞き逃がしチョークノブを全開でリコイルスタータを何回も引いた時は入り過ぎた燃料を正常の空燃比(空気と燃料)とするためにチョークを全開にし、スロットルレバーをいっぱいに向けリコイルスタータを引いて下さい。
- その場合、爆発音を聞き逃がしてから、リコイルスタータを引いた回数あるいはその回数の2倍近く引かないと正常の空燃費は得られません。
- 正常の空燃費になった時、リコイルスタータを強く引くと始動します。
- 上記のように燃料が吸い込み過ぎの状態になった時は回復が大変ですから御注意下さい。

2. エンジンが暖まっている時(停止後10～15分以内)

- スロットルレバーはスローの位置。⑨
- チョークノブは全開の位置。⑭
- リコイルスタータを強く引いて下さい。⑬
3回程で始動します。

3. 停止後30分位経ち冷えた時は1項の順に従って下さい。

〈注意〉

- エンジン始動のとき機械をしっかり押え、周囲の人などにも十分注意し、刃物のそばの石や障害物もさけるようにします。
- エンジンが始動すると同時に刃物が回り始めますので十分に気をつけて下さい。

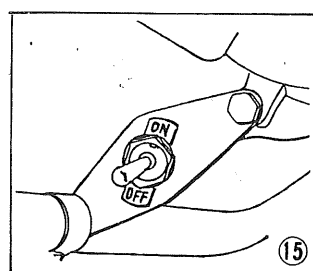
○運転と停止

● 運転

- 低速運転の後スロットルレバーを除々に開けエンジンの回転を上げてゆきます。

- アイドリング運転(3,000～3,500 r.p.m.) の状態でも刃物が回る場合がありますのでご注意下さい。

● 停止



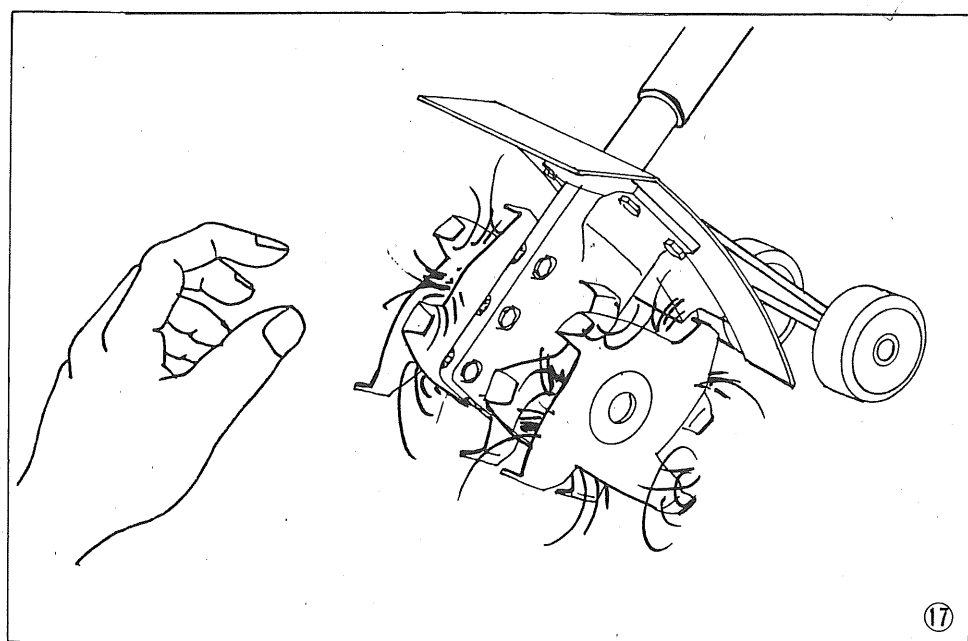
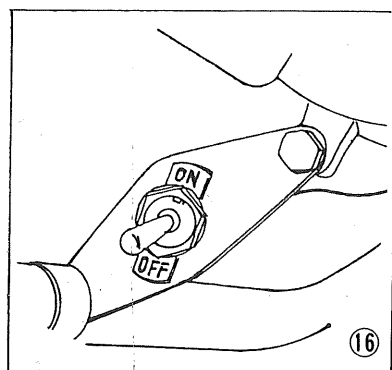
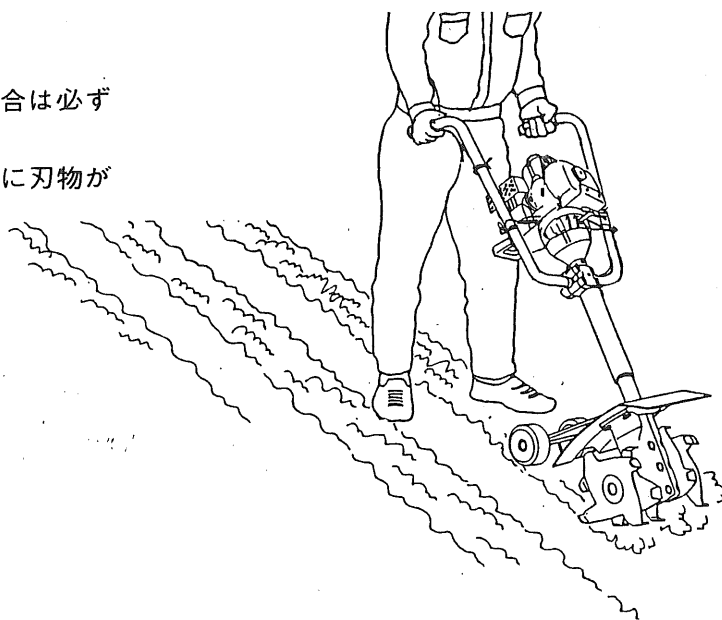
- スロットルレバーを戻し低速で冷却運転をしばらくつづけてから停止スイッチを「OFF」の位置にして停止して下さい。⑮

〈注意〉

- みだりにエンジンの回転を上げ空運転をしますと故障の原因になりますのでしないで下さい。

○作業中の注意

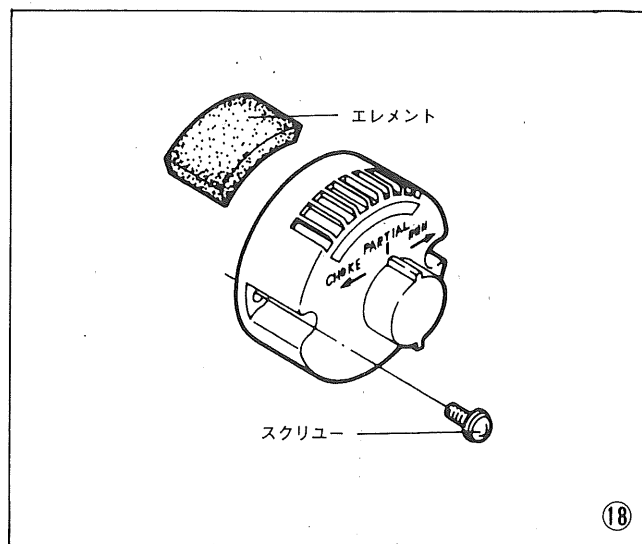
- 石や草がまき込み刃が回らなくなった場合は必ずエンジンを停止して除去して下さい。エンジンが回転中負荷を取り除くと不意に刃物が回り危険です。 ⑬⑭



点検と整備

○エアークリーナー

- エアークリーナスクリュをはずし、エアークリーナを取りはずします。
- エレメントの汚れを点検します。軽くゴミを払うか、汚れのひどいときはガソリンで洗い、乾いてから使用します。 ⑰



○気化器 (キャブレタ)

出荷時には燃料が最適に供給されるように調整してありますから、不必要に燃料調整弁を動かさないで下さい。

再調整が必要な場合は、次の要領で行って下さい。

- エアークリーナカバーをはずし、燃料調整針弁を静かに回して調整します。

(右に回すと閉じる方向です)

調整の標準は、調整針弁を全閉にしたところから戻し回数をそれぞれ

低速針弁(アイドルニードル) : $1\frac{1}{4}\pm\frac{1}{8}$

高速針弁(ハイスピードニードル) : $1\frac{1}{4}\pm\frac{1}{8}$

としたところになっています。

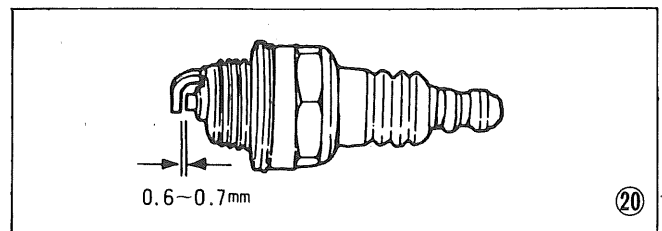
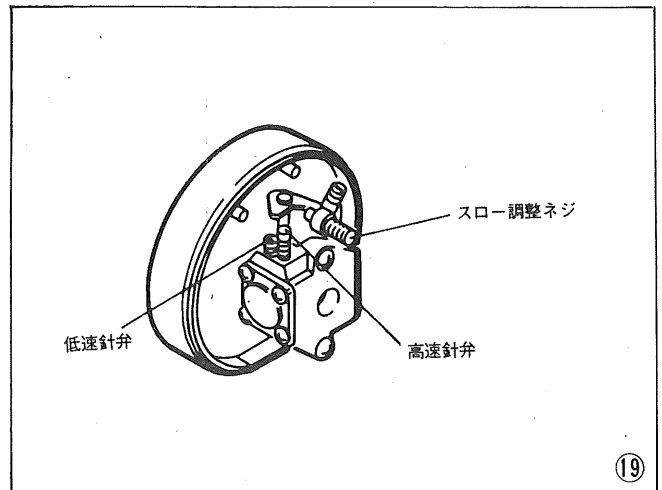
高速針弁には保護用キャップがはめ込まれておりますので、取りはずしたのち調整を行なうようにして下さい。 ⑱

- スロー調整ネジ

スロー調整ネジを左右に回し、低速回転を調整します。 ⑲

○スパークプラグ ⑳

- スパークプラグの適正な電極間隔は0.6~0.7mmです。常に適正な間隔を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して清掃の上ご使用下さい。



部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合にはご遠慮なく、お買い求めの販売店もしくは最寄りの、リョービ販売の営業所にお問い合わせ下さい。

- この製品は、一貫した品質管理の基に組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。

※改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元

 **リョービ販売** 株式会社
RYOBI

 **リョービ** 株式会社
RYOBI